

インド向けにアンモニアプラントを受注

2021年5月27日
東洋エンジニアリング株式会社

東洋エンジニアリング株式会社のインド現地法人である Toyo Engineering India Private Limited (Toyo-India 社長 秋本 幸裕)は、インドの Performance Chemiserve Limited (PCL)が同国南西のマハーラーシュトラ州ナヴィームンバイで計画する日産 1,500 トンのアンモニアプラントおよび付帯設備・用役設備の建設プロジェクトを受注しました。Toyo-India は設計、調達、建設、試運転までの EPC 業務を一括請負で実施します。プラントの完成は 2023 年上半期を予定しています。

PCL はインドを代表する肥料および化学製品の製造会社である Deepak Fertilisers and Petrochemicals Corporation Limited (DFPCL)の子会社です。DFPCL はアンモニアメーカーとして 1979 年に設立され、現在ではインド各地に各種製造施設を保有し、その他の事業も運営するコングロマリット です。

TOYO は 80 件超のアンモニアプラント建設実績を有しており、また現在、ウッタル・プラデーシュ州ゴラクプールでも Hindustan Urvarak & Rasayan Limited (HURL)向けのアンモニア・尿素プラントを建設中です。

多くの人口と巨大な中間所得層を抱え、今後も成長を続けるインド において、TOYO は同国の経済発展に貢献してまいります。

受注概要

客先 : Performance Chemiserve Limited (PCL)
受注者 : Toyo Engineering India Private Limited
建設地 : インド マハラシュトラ州 ナヴィームンバイ
対象設備 : アンモニア製造設備 (日産1,500トン)、付帯設備、用役設備
役務内容 : 設計、調達、建設、試運転までの一括請負
完成予定 : 2023年上半期

<お問い合わせ先>

広報・IR 部 [担当: 飯田、福島] TEL : 047-454-1113